

パパを楽しみながら家族や地域との繋がりを深める 『パパパワーUP講座』

キーワード：地域での子育て支援、仲間づくり、趣味・技能

活動の内容：主体的に地域と繋がる「イクメン」をめざす

【目的】

子育てや家族の時間を楽しみたいパパ達を応援する連続講座を通して、パパ達がパパであることを楽しみながら家庭での役割を広げ、夫婦力や家族力を深めていくことができるようにと平成22年からスタートした事業です。2年目からはイクメンをブームでは終わらせたくないという思いから、パパ達も子育てを通して地域のパパ達と繋がっていく『パパ友づくり』、またパパ自身が1人の生活者として地域と繋がりながらイキイキと生きる『イクメンへのバージョンUP』も重要なテーマとしています。

【開始時期】

平成22年7月～、平成23年9月～(共に4回) ※平成24年9月～(24年度3回)

【内容（対象、場所、具体的内容）】

■対象 特に子育て中の家族、プレパパ・ママ

■内容・場所など

家族全員で一緒に時間をほっこりと楽しみたいのがイマドキ家族。毎回楽しみながら参加できるように、カメラ、ベビーマッサージ&ヨガ、おうちカフェ、パパごはん、絵本など、テーマや開催場所を変えています。1講座の中でパパ時間、パパ子時間、家族時間などを設定し複数プログラムを組み合わせながら実施しています。

また、参加者主体という考えのもと、参加者同士の繋がりや学びを深めるきっかけづくりとして、お題に答えながら即席名刺をつくり交流する自己紹介タイム、「パパ友カフェ」と題したゆるやかトークタイムなどを設定しています。また、「偏愛マップ」、「大切にしていることランキング」といったゲームを交えるなど、話しやすい雰囲気づくりや場づくりをするのが担当者の役目だと思っています。

さらに、講座後も継続した情報提供や参加者同士の繋がりをサポートするためにメーリングリストを案内しながら、自主的な交流ができる場づくりをしています。

活動のきっかけや目的：「パパ」という共通点をきっかけにしたい

私自身、担当者でありながらパパであるということも大きなきっかけであり、「仕事も子育ても両立しながら楽しみたいと思っているパパ達を応援したい」、「パパ支援は最大の子育て支援」という思いから事業を企画しました。楽しみや苦悩などを共有したり、一緒になって地域活動にチャレンジしたりできるのは「パパ」という強力な共通点があるからこそ。「パパ」達に焦点をあてることで、パパの生き方はもちろん、夫婦や家族、子育て支援の多様性を深めていくきっかけづくりを続けていきたいです。

活動の成果や今後の展開

生き方の見直し、家族の距離を縮める「気づき」

パパママそれぞれが気づきを通して、パパとしての生き方はもちろん、夫婦や家族のあり方を振り返ったり、同じ地域に住むパパママ同士が繋がる機会になっています。参加したパパ達からは「子どもとの距離が縮んだ」、「仕事から早く帰ってもっと家族との時間を楽しみたい」、「他のパパ達の姿をみて刺激を受けた」、「パパ達とのトークを通して思いを共感し合えた」という声が、またママ達からは「パパの思いを初めて知った」、「初めて子どもに絵本を読んでくれた」、「家族一緒に参加できる講座だとパパも参加しやすいようだ」といった声も聞こえてきました。

男性同士のつながりが生まれ、育児の「当事者意識」も高まる？

さらに、担当者にとってもパパ達と顔見知りになる絶好の機会でもあり、新たに子育てサークル向け講座の申請を頂いたり、当時立ち上がったばかりであった市内幼稚園に通う園児のパパ達有志による団体「パパーズ」と共催でパパ講座を実施するなど活動も広がっていきました。特に、パパーズの皆さんとは講座後も一緒に園行事で読み聞かせや劇を実施しながら、「参加者から主体者へ（参加から参画へ）」と変化していく過程をサポートしています。自主的な活動が進むに連れて、パパ達が自分の子どもだけでなく、「みんなのパパママ」へと気持ちが変わっていく様子も実感しています。

子育てを通じた地域との繋がり

自主的な活動をサポートしていくことは、パパはもちろん家族が子育てを通して地域と繋がっていく重要な機会でもあります。また、地域との接点が増え顔見知りが増えることは、家族や地域全体の安心感が深まっていくだけでなく、子どもが家族や地域の人に見守られながら安心して成長することができる基盤にもなっていきます。

広がりのある活動をめざして

24年度は、男性向け料理教室やおじいちゃん達を対象とした孫育て講座との連携、また、地域でイキイキと活動しているパパやパパサークルの協力を得ながら、当事者と一緒になって男性の子育て・地域参画の気運を高めてしていきたいと思っています。

活動進めるポイント

- ◆「家族一緒に参加できるプログラム」は参加意欲を高める
- ◆「参加者同士の繋がり」を意識した場づくりをする
- ◆「主体は参加者！」参加者同士の気づきや学び合いの場を設定する
- ◆「参加者から主体者へ（参加から参画へ）」をサポートする
- ◆「担当者も参加者と一緒に実践活動する」と信頼が深まり活動が広がっていく
- ◆「担当者も繋がりを楽しむ」と地域での事業が深まっていく



【自治体・事業紹介】

名称 秋田県大仙市

事業開始年 平成22年

概要 「大仙市」は、平成17年3月22日に大曲市、神岡町、西仙北町、中仙町、協和町、南外村、仙北町、太田町の1市6町1村が合併し誕生しました。古くから県南の交通の要衝であり、現在でも秋田新幹線や秋田自動車道等陸路・鉄道の結節点として拠点機能の強化が進んでいるため、県の8地方の一つである仙北地方の中心として国や県の様々な機関が設置されています。花火が毎月打ち上がる街であり、特に毎年約70万人が訪れる全国花火競技大会「大曲の花火」は世界で最も質の高い花火が打ち上げられる、花火師の情熱とプライドをかけた由緒ある花火競技大会として有名です。

ホームページアドレス <http://www.city.daisen.akita.jp/>

連絡先 秋田県大仙市大曲花園町1-1 大仙市 企画部 男女共同参画・交流推進課

TEL: 0187-63-1111 FAX: 0187-63-1119

E-MAIL: kyodo@city.daisen.akita.jp